

モニタリング実施報告書

令和7年度（定期） （本市）モニタリング実施報告書

施 設 名	那覇市体育施設 (那覇市民体育館・漫湖公園市民庭球場・那覇市民首里石嶺プール)
所 在 地	那覇市民体育館 : 那覇市字識名 1227 番地 漫湖公園市民庭球場 : 那覇市鏡原町 37 番 1 号 那覇市民首里石嶺プール : 那覇市首里石嶺町 2 丁目 70 番地 9
指定管理者	名 称 特定非営利活動法人 那覇市体育協会 代表者 大城 朝徳 住 所 那覇市字識名 1227 番地 那覇市民体育館内 電 話 (098) 853-6979
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年度間）
モニタリングの実施方針・方法等	(指定管理者) ・本施設の管理運営業務の確認は「指定管理業務実績報告書」、毎月提出される「施設管理状況等報告書」、実地調査、利用者アンケート調査、指定管理者へのヒヤリング等により把握した。 ・次に指定管理者選定に用いた仕様書に示されている「業務内容」「業務報告」「実績報告」等の内容に沿って作成されたモニタリングシートで確認を行い、その結果を「モニタリング総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた方針」に記載した。
担当部課(問合せ先)	那覇市教育委員会 生涯学習部 市民スポーツ課 T E L : 098-917-3504 (直通) 098-867-0111 (代表) 内線 2601 E - m a i l : E-S-SUP001@city.naha.lg.jp

モニタリング総合コメント（本市）

- ・協定書及び仕様書を遵守し、これまでの経験と実績を踏まえ、各種大会にも対応し得る高度な環境整備及び適切な施設運営が行われている。
- ・新規利用者を増やすため、市民ニーズに応じた取り組み（土日に一般利用枠を設ける、利用時間の明確化等）を実施し、実績をあげている。
- ・シニアクラブ（高齢者の運動機会の提供及びコミュニティづくり）の発足や、MIX スポーツ（障がいを持つ方も持たない方も共に楽しめるスポーツ教室）の開催等、だれでもスポーツを楽しめる環境づくりに努めている。
- ・施設も清潔に保たれており、倉庫内のスポーツ用具の整理もされている。また、利用者が設置から片づけまで分かりやすく作業できるよう、写真を掲示するなどの工夫がなされている。
- ・スタッフ対応マニュアルも整備されており、接遇研修やAED研修の開催により、窓口対応や緊急時の対応もスムーズにできるよう取り組まれている。
- ・行政からの急な要請への対応等、状況に合わせた臨機応変な措置を講じている。
- ・健全な経営状態を保ち、社会体育事業の担い手としてスポーツ振興と市民の健康づくりに貢献している。

今後の業務改善等に向けた方針（本市）

1 改善・是正事項

特になし。

2 課題事項

特になし。

3 最重要事項

市民の要望を反映し、改修による向上した施設機能を活かすイベントや教室の企画運営。

4 その他

本市の厳しい財政状況を踏まえながら、施設設備の修繕や機能強化について、優先順位を付け、適切に対応していく。

1 基本的考え方及び管理体制

・設置目的について

那覇市体育施設の設置目的である「スポーツ・レクリエーション活動等の普及及び振興並びに市民の健康及び体力の増進を図る」は、指定管理者である那覇市体育協会の設立目的と一致しており、目的達成に向けて様々な工夫を凝らし取り組まれている。

・法令等の遵守について

那覇市体育施設条例や規則、関係する法令等を遵守し、施設の管理運営を行っている。

・利用者の平等な利用の確保について

施設利用許可を適正に行い、平等な対応を行っている。特定の個人や団体に有利あるいは不利になるような取り扱いをせず、平等利用の確保を図っている。

・管理体制について

適切な人員配置（施設によって求められる有資格者の配置等）がされている。

AED研修や接遇研修（苦情対応や個人情報保護等について含む）を行い、職員の資質向上を図っている。

定められた消防訓練の他に自主訓練の実施等を含め、危機管理の体制づくりがされている。

・個人情報保護について

個人情報保護の方針やマニュアルが整備されており、採用時にも研修を受講する等、スタッフの教育も含め、適切な管理がされている。

2 公の施設のサービス向上及び経費削減

- ・利用者に対するサービス向上について

土日の一般利用枠の設定や、利用可能時間の明確化により、新規利用者が増えた。

平成28年度に運動貯金カード（施設利用でポイントを付与、一定数のポイントになると利用料金の割引を行う制度）を導入し、リピーター獲得に向けて取り組んでいる。

スポーツ教室については、市民ニーズに応じた教室の開催に向けて取り組んでいる。

- ・経費削減について

これまでに培ったコスト削減のノウハウを活かしながら、継続して施設管理経費の削減に取り組んでいる。（光熱水費の日常点検を行うことで節水節電を徹底。石嶺プールのオーバーフローの管理や空調機を作動させる場合、各箇所を時間差で起動することでの電力基本料金の削減など）

3 団体の概要及び管理運営能力（経営状態）

- ・昭和21年に設立され、平成14年に沖縄県の体育協会ですべて初めてNPO法人を取得。

- ・26のスポーツ加盟団体を擁し、様々なスポーツ大会や講習会などを開催し、那覇市民の健康づくりやスポーツ、レクリエーションの普及・振興を図る活動を行っている。地域に根差した生涯スポーツの浸透を担っている。

- ・指定管理業務について蓄積されたノウハウをもとに、年々、安定した維持管理を行っている。